

第1学年梅組 学級活動指導案

- 1 日時 平成27年10月23日(金)
- 2 単元名 なんでもたべよう
- 3 単元の目標
 - 好き嫌いせずに食べられるようにする。 【関心・意欲・態度】
 - 体のためには、バランスよく食べることが大切であることを知る。 【知識・理解】
- 4 学力向上を視点においた授業づくり
 - (1) 特別支援教育ハンドブック参考頁 P126
 - (2) 言語活動充実の工夫
 - 課題についてペアで話し合う。
 - (3) ICTの活用
 - 拡大図、食品の写真
- 5 本時の指導
 - (1) ねらい
 - 好き嫌いせずに食べることが丈夫な体をつくることを知り、何でも進んで食べようとする意欲をもつ。
 - (2) 食育の視点
 - 食べ物は働きによって、3つのグループに分けられることを知る。 【食品を選択する能力】
 - 3つのグループの食べ物の働きを知り、好き嫌いなく食べようとする。 【食事の重要性】
 - (3) 準備物 拡大図 食品の写真 給食の献立表 ワークシート
 - (4) 展開

学習活動	主な発問と児童の思考の流れ	指導上の留意点○ 評価◎
1 給食の中で好きな食べもの嫌いな食べものを話し合い、なぜ嫌いなのか考える。	○ 好きなもの、嫌いなものはなんですか。 ・お肉が好き。 ・ごはんが好き。 ・苦いからピーマンがいや。 ・トマトのにおいが嫌い。	○ 事前に調査した結果を知らせ、好き嫌いが多いことに気付くようにする。
2 本時の課題を知る。	ばくばくげんきになんでもたべよう。	○ 栄養列車を提示し、3つの色に分けられることを知らせる。
3 給食を色別に分ける。	○ 3つの仲間にわけましょう。 ・みそするには、いろいろな食べ物が入っているんだね。 ・牛乳やお肉は、赤色だね。 ・ご飯は、黄色だね。 ・小松菜は、緑だよ。	○ 給食は、いろいろな食材を使い、栄養のバランスを考えて作られていることを確かめる。 ○ ペアで話し合うことで意見を出しやすくする。
4 赤・黄・緑色の食品の働きを知る。	○ どんな働きがあるのでしょうか。 ・赤色は、血や筋肉や骨をつくるんだね。 ・黄色は、熱や力のもとになるんだね。 ・緑は、体の調子を整えるんだね。	○ バランスよく食べることの大切さを伝える。
5 学習のまとめをする。	○ 学習の感想を書きましょう。 ・食べ物には役目があるんだね。 ・野菜を少しでも食べよう。 ・嫌いなものがあるけど、がんばってたべよう。 ・これからも3つの色のものをすすんで食べよう。	○ ワークシートに分かったことやこれから頑張りたいことを具体的に書くことで、実践への意欲をもたせる。 ◎ 食べ物の働きを知り、何でも食べようという気持ちをもつことができる。

第2学年梅組 学級活動指導案

- 1 日時 平成27年6月29日(月)
- 2 題材名 やさいをたべて、すっきりうんち
- 3 題材の目標
 - 好き嫌いをせず、進んで野菜を食べようとする態度を育てる。 【関心・意欲・態度】
 - 排便のためには、野菜などバランスよく食べることが大切であることを知る。 【知識・理解】
- 4 学力向上を視点においた授業づくり
 - (1) 特別支援教育ハンドブック参考頁 P8
 - (2) 言語活動充実の工夫
 - 課題についてペアで話し合いをして、全体発表をする。
 - (3) ICTの活用
エプロンシアター
- 5 本時の指導
 - (1) ねらい
 - 排便の大切さを知り、好き嫌いをせず、進んで野菜を食べようとする態度を育てる。
 - (2) 食育の視点
 - スムーズな排便のためには野菜が大切な役割をすることを知り、進んで野菜を食べようとする。 【心身の健康】
 - (3) 準備物 エプロンシアター
 - (4) 展開

学習活動	主な発問と児童の思考の流れ	指導上の留意点○ 評価◎
1 自分の排便を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日うんちは出ているかな。 ・ 出ない日の体調はどうかかな。 ○ どんなうんちが出ているかな。 ・ すっきりバナナうんち ・ ベタベタうんち ・ ころころうんち 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート結果を提示し、排便が毎日ない児童が多いことを知らせる。 ○ 便の模型の教具を提示し課題解決への意欲をもつ。
すっきりうんちの ひみつを しろ。		
2 食育エプロンで、排便について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ おなかの中を見てみよう。 ・ おなかの中はこんなになっているんだね。 ・ 食べ物はおなかを通過してうんちになるんだね。 ○ すっきりうんちが出ないとどうなるでしょう。 ・ おなかが痛くなる。 ・ くさいおならが出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭がエプロンシアターを使い、排便の仕組みを説明する。
3 便をすっきり出すために野菜が必要であることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何を食べたらすっきりうんちが出るかな。 ・ 野菜を食べたらいいのかな。 ・ バナナを食べたら、バナナうんちが出るかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペアで話し合い、これまでの経験などを思い出すことで、意見を出しやすくする。
4 野菜の働きを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜についてのお話を、聞きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭から野菜の働きについての具体的な話を聞き、進んで野菜を食べようとする意欲を高める。
5 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の学習で分かったことやこれからがんばりたいことを書きましよう。 ・ 苦手な野菜もがんばって食べるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 好き嫌いをせずに、野菜を進んで食べようとする意欲をもつことができる。

第3学年竹組 総合的な学習の時間 学習指導案

- 1 日 時 平成27年10月28日(水)
- 2 単元名 食べ物をありがたく
- 3 単元の目標
- 給食や食べ物のことについて図書資料やインタビューなどで調べることができる。
【課題発見力】
 - 給食や食べ物について興味を持ち、調べることができる。【学び方・考え方】
 - 調べたことを分かりやすくまとめ、発表したりすることができる。
【主体的、創造的、協同的な態度】
 - 食べ物をありがたくいただくことについて、自分にできることを考えることができる。
【自己の生き方】
- 4 学力向上を視点においた授業づくり
- (1) 特別支援教育ハンドブック参考頁 P26、P140
- (2) 言語活動充実の工夫
- インタビュー活動やグループ活動など、協同して課題を解決しようとする。
 - 自分の考えを深め、調べたことを分かりやすくまとめる。
- 5 本時の指導
- (1) ねらい
- 給食や食べ物について意欲的にインタビューすることができる。
 - 分かったことから、自分の考えを深めることができる。
- (2) 食育の視点
- 食事は多くの人の努力があって作られていることを知り、感謝の気持ちをもって食べることができる。
- (3) 準備物
食材カード、ワークシート
- (4) 展 開

学習活動	主な発問と児童の思考の流れ	○指導上の留意点 ◎評価
1 今日の活動を知る。 ・課題の確認する。	○ 自分の課題を確認しよう。 ・野菜のひみつや栄養について知りたいな。 ・おいしく食べる調理法について、調べよう。 ・作ってくれる人の工夫や願いを知りたいな。	○ 自分の課題を確認し、調べようとする意欲を高める。
・栄養教諭に質問する。	栄養士の先生に食材などについていろいろなことを聞こう。 ・ピーマンが苦いのはなぜ？ ・きのこのぬるぬるは栄養があるの？ ・なすの色は栄養と関係あるの？ ・給食を作っている時にどんなことを思っているの？	○ 自分の課題の解決のために積極的に質問できるようにする。 ○ 友達の発言を聞きながら、様々な食材にも興味を持つよに働きかける。 ◎ 意欲的にインタビューすることができる。
2 分かったことをまとめよう。 ・発表しよう。	○ 分かったことをワークシートに書きましょう。 ・いろいろな食材の栄養について分かった。 ・似たような働きをする食材があることが分かった。 ・同じ働きの食材についても調べていきたいな。	○ 課題が広がるように助言する。 ◎ 自分の考えを深めることができる。
3 次時の予定を知る。	○ 本で調べたり、お家の人などに聞いたりしてさらに深めていきましょう。	○ 次時への見通しがもてるようにする。

第4学年松組 学級活動指導案

- 1 日時 平成27年6月8日(月)
- 2 題材名 おやつを食べ方を考えよう
- 3 題材の目標
- おやつに関心をもつ。 【関心・意欲・態度】
 - おやつを食べ方について考える。 【思考・判断・実践】
 - 砂糖の摂り過ぎによる心身への影響について知る。 【知識・理解】
- 4 学力向上を視点においた授業づくり
- (1) 特別支援教育ハンドブック参考頁 P151
 - (2) 言語活動充実の工夫
 - ペア学習を取り入れる。
 - (3) ICTの活用
 - 拡大コピー
- 5 本時の指導
- (1) ねらい
 - 心身によいおやつを食べ方が分かり、実践しようとする態度を育てる。
 - (2) 食育の視点
 - おやつを食べ方を考え、自らおやつを選択しようとする。
心身の健康】 【食品を選択する能力】
 - (3) 準備物 おやつ箱や袋、電卓、水筒(お茶)、角砂糖
 - (4) 展開

学習活動	主な発問と児童の思考の流れ	○指導上の留意点 ◎評価
1 おやつを食べ方を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ おやつを食べているかな。 ・おやつが楽しみ。 ○ どんなおやつを食べているかな。 ・ポテトチップスやおせんべい ・チョコレートやガム ・ジュース 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のアンケート結果を見ておやつを食べ方を振り返らせる。 ○ おやつ箱や袋を提示し課題に対する意欲をもつ。
おやつを食べ方を考えよう		
2 一日に摂ってよい砂糖の量を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ飲料水を調べよう。 ・そんなに甘くないから、あまり入っていないよ。 ・驚いたな。角砂糖10個分も入っているんだね。 ○ 一日にどのくらいの砂糖を摂ると身体によいのでしょうか。 ・15個分くらいかな。 ・わからないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 角砂糖を見たり、食べたりすることで実感をもたせる。
3 おやつの中に含まれている砂糖の量を計算する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算の方法を知らせるので、電卓で計算してみよう。 ・こんなに入っているなんて。 ・びっくりしたよ。身体に悪そうだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペアで教え合い、食べていたのおやつに含まれる砂糖の量を計算して確かめる。
4 砂糖を摂りすぎるとどうなるか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂糖を摂りすぎると心身にどのような影響があるのか、お話を聞きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭から砂糖を摂りすぎると身体だけでなく、精神にも悪いことを聞く。
5 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の学習でこれからは、どのようにおやつを食べていくとよいか自分のめあてを書きましょう。 ・表示をしっかり見るよ。 ・食べ過ぎないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ おやつを食べ方について考え、これからのめあてを立てることができる。

第5学年竹組 家庭科学習指導案

- 1 日 時 平成27年11月9日(月)
- 2 題材名 食べて元気! ご飯とみそ汁
- 3 単元の目標 栄養素の体内での働きを知り、伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作ろう。
- 日常の食事、特に日本の伝統的な日常食であるご飯とみそ汁に関心をもち、食事の役割を考えて食事を大切にしようとする。 【家庭生活への関心・意欲・態度】
 - おいしいご飯及びみそ汁の調理の仕方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 【生活を創意工夫する能力】
 - 安全や衛生に気を付けて、ご飯とみそ汁を調理することができる。 【生活の技能】
 - 五大栄養素の種類と働きや栄養を考えて食事をとることの大切さやご飯及びみそ汁の調理の仕方について理解している。 【家庭生活についての知識・理解】
- 4 学力向上を視点においた授業づくり
- (1) 特別支援教育ハンドブック参考頁 P43 P35 P179
- (2) 言語活動充実の工夫
- グループ活動を取り入れ、だしの種類や具材・栄養素などについて話し合い、ご飯とみそ汁の組み合わせを考えることができる。
- (3) ICTの活用
- だしの種類の資料
 - ごはんとみそ汁の作り方のタイムスケジュール表
- 5 本時の指導
- (1) ねらい
- 伝統的な日常食であるみそ汁を作ろう。
- (2) 食育の視点
- 栄養バランスのとれた食事の大切さを理解し、習慣化できる。 【食事の重要性】
 - 米作りやみそ作り等を通して生産者や自然の恵みに感謝し、和食等の食文化への関心をもち、 【感謝の心】 【食文化】
- (3) 準備物 黒板掲示用資料 いろいろなだし 手作りみそ
- (4) 展 開

学習活動	主な発問と児童の思考の流れ	○指導上の留意点 ◎評価
1 おいしい味噌汁の作り方を調べる。	○ どんな味噌汁がおいしいと思いますか。 ・好きな実が入っている。 ・だしが効いている。 ・みそが手作り。	○ 経験をもとに話し合わせ、調理への意欲を高めるとともに、味などに関心をもちさせる。
おいしいみそ汁を作ろう。		
2 味噌汁をおいしくするための工夫を考える。	○ おいしい味噌汁の作り方について、発表しましょう。 ・だしの種類と取り方 ・実の種類 ・水とみその分量 ・実の切り方 ・みその溶き方とタイミング ○ だしの種類と取り方について、宇都宮先生に聞いてみましょう。 ・だしによって、味にも違いがある。 ・このだしが好きだ。 ・このだしのみそ汁は食べたことがないなあ。	○ 家庭で事前に調べてきたみそ汁の作り方を発表させる。 ◎ 日本の伝統的な日常食であるみそ汁に関心をもち、調理しようとしている。 ○ だし種類と取り方について、栄養教諭が指導し、味やおいしさを確かめさせる。 ○ 日本料理において、だしは味の基礎となっている大切なものであることを知らせ、伝統的な食文化への関心をもちさせる。
3 実習の計画を立てる。	○ 味噌汁の作り方の手順を確かめましょう。 ・だしの種類の決定。 ・実の種類をきめよう。 ・材料の分量をきちんと計算しよう。	○ だしの種類別にグループを作り、実の種類と手順を確かめる。 ○ タイムスケジュールカードを利用し、手順と役割分担を分かりやすくまとめさせる。 ◎ 味噌汁の調理の仕方について理解している。
4 本時のまとめをする。	○ 実習に必要な項目がすべて押さえられているか確認しましょう。	○ 計画表を確認し、実習に意欲をもちさせる。

第6学年竹組 体育科（保健領域）指導案

1 日 時 平成27年6月29日（月）

2 題材名 生活のしかたと病気

3 題材の目標

- 生活習慣病について、資料を基に進んで話し合い、発言しようとする。 【関心・意欲・態度】
- 自分の生活行動を振り返り、望ましい生活行動としての課題を見つけることができる。 【思考・判断】
- 生活習慣病とその起こり方について理解することができる。 【知識・理解】

4 学力向上に視点においた授業づくり

- (1) 特別支援教育ハンドブック参考頁 P46 P58
- (2) 言語活動充実の工夫

○ ワークシートを用いることにより、自分の考えを深め、まとめる。

5 本時の指導

- (1) ねらい
 - 生活習慣病の予防には、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であることがわかる。
- (2) 食育の視点
 - 自分の生活を振り返り、食事のリズムや内容など、具体的な改善方法について考え、実践していこうという意欲を高める。 【食事の重要性】
- (3) 準備物 アンケート結果 血管の模型
- (4) 展 開

学習活動	主な発問と児童の思考の流れ	○指導上の留意点 ◎評価
1 自分の生活を振り返り、生活習慣と病気との関わりについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級のアンケート結果と比べよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・クラスみんなは、バランスよく食べている。 ・自分はみんなに比べて味の濃いものをよく食べている。 ○ Aさんの一日の生活について、気付いたことはどんなことかな。 <ul style="list-style-type: none"> ・太ってしまう。 ・ドロドロ血になりそう。 ・こんな生活を続けているとどうなるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前にアンケートを実施し自分の生活に課題意識をもたせておく。 ○ 「生活リズム」「運動」「食事」の3観点について考えさせるが、特に「食事」に目を向けさせる。 ○ 理由を意識させながら、考えさせていく。
2 本時のめあてを確認する。	生活習慣病を予防するための生活の仕方について考えよう。	
3 「生活習慣病」の内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣病とは、どんな病気だろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・偏った食品を摂りすぎると、血管がつまる。 ・規則正しい生活をしていないと病気になる。 ○ 血管が狭くなるとどんなことが起こるのでしょ。 <ul style="list-style-type: none"> ・血が流れにくくなる。 ・血管が詰まって病気になったり、死んでしまったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入の内容から、本時のめあてを確認し、課題について意識化を図る。 ○ 食品の実物や模型実験を見せることで、視覚を通して理解させやすくする。 ○ 病気の症状だけでなく、予防にも意識を向ける働きかけを行う。
4 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣病を予防するにはどうすればよいでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・塩分や糖分量を摂りすぎないようにする。 ・バランスよく栄養を摂るように普段から気を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートに記録し、本時を振り返ることにより、次時に生かすようにさせる。 ◎ 生活習慣病の予防には、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であることが分かる。